

●KR & AC 物語

# 神戸とKR & AC

★神戸と横浜をスポーツで結ぶ

さる三月二〇日(土)、関西最古の神戸在住外人スポーツクラブ KR & AC (Kobe Regatta & Athletic Club) と関東で最古の外人スポーツクラブ YC & AC (Yokohama Country & Athletic Club) の交歓試合とパーティーが磯上グラウンドで催された。

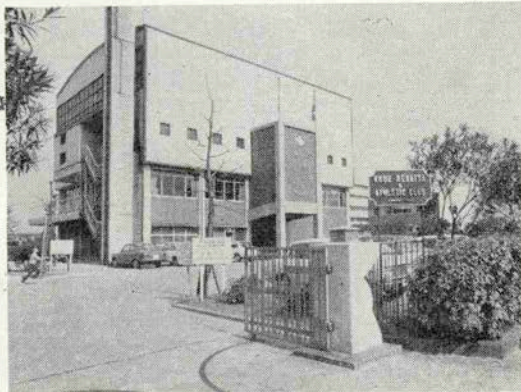
毎年一回、ホッケー、ラグビー、サッカー、バスケットボール、バドミントン、テニス、野球、ゴルフなど、シーズン毎にスポーツの交歓をしているもの。その歴史は古く、ラグビーなどは一九〇六年に第一回試合を行っている。

今回は女子ホッケー、男子ホッケー、ラグビーの三試合が行われた。結果は女子ホッケー五対二で KR & AC の勝利、男子ホッケー一対一の引き分け。ラグビー〇対六で YC & AC の勝利だったが、過去の対戦成績を眺めてみると、いずれもフイフティ、フイフティに近い好敵手同士。

夜八時頃からは体育館で、親善



家族的な応援ぶり



磯上グラウンド横の KR & AC

パーティーが開かれた。スポーツに結ばれた KR & AC 約一八〇名、YC & AC 約五〇名が集まり、カクテル・パーティーに続いて、ディナー、トロフィの交換、ショーやダンスを楽しんだ。

★KR & AC から

スポーツの輪が広がっていった

KR & AC の歴史は一八七〇年九月二〇日にさかのぼる。この日は、神戸在住のいろんな国籍、いろんな職業の外国人たちが KR & AC のメンバーとして書類にサインをした日だった。

このクラブのアイデアを出したのは A・C・シムという薬剤師であった。彼は、その年の始め、ロンドンから神戸にやって来たのだが、彼の名は優秀なスポーツマンとしても知られていた。そして彼はオフィスや居住地からそう遠くないところに素晴らしい砂浜をみつけ、そこにボートハウスを建てようと提案したのだった。

それまでの外国人のスポーツといえば、中国から馬を連れて来

て、乗馬を楽しむ程度であったから、この考えは画期的であり、人々の心をとらえたのであろう。

その結果、イギリス、アメリカ、北ドイツ領事の援助を得て、当時イースタンチャンパーとして知られていた土地を確保できたので、そこにボートハウスと体育館を造った。

翌年は日本人も含めた催しが開かれ、今と比べて語学のより不自由さにもかかわらず、当時としては、最高の盛況を呈した。

KR & AC の一番の貢献はスポーツの紹介である。はじめ外国人だけでクリケット試合を行ったり、運動競技を行っていた。又外国船の乗組員が港に着くと、よくスポーツ道具を持って来ては空地でスポーツをしていた。そしてKR & AC のメンバーもチームを作って、彼らと試合をするようになった。

日本人、特に学生たちはそれを興味を持って眺め、間もなく彼らもゲームを自然に覚えていった。

日本にスポーツが最初に紹介されたのは、こういう非公式な方法であった。横浜でもYC & AC がスポーツの紹介に大きな役割を果たしたが、関西ではKR & AC がその役割を担っていた。

しかし、KR & AC は最初から不運に見舞われた。台風や嵐でク



男子ホッケー KR&AC 対 YC&AC



女子ホッケー KR&AC 対 YC&AC

ラブは多くの痛手を受け、一八八〇年にはとうとう壊滅してしまった。ボートハウスは移動せざるを得なくなり、敏馬に広く、すばらしい敷地を購入し、新しいボートハウスを造った。

その頃はこのクラブが最も活躍した時期であったが、残念なことにボートハウスが再建される少し前に、創設者、A・C・シムが不慮の事故で亡くなった。

しかし敏馬は大変良い場所だった。その頃、阪神電車ができて、メンバーはそれに乗って通った。

金持ちのメンバーたちは、メリケン波止場まで歩いて、そこからクラブがチャーターしたランチで通った。夏の暑い日にはランチの上の藤椅子にねそべって、夕方の涼風を楽しんだ。そんなことが当時の生活の楽しみだった。

当時沖ではサンマがとれ、その補償のことで漁民たちとのイザコザも生じたが、毎年、ボート競争、水泳テニスなどが、日本人も一緒に活発に行なわれていた。

#### ★ロマンスの育った舞踏会

長い年月の間に、KR & AC は単にスポーツクラブというばかりでなく、在神外国人のいろいろな意味での社交場のようになっていた。



タウンホール、シテイスクエア、ビレッジグリーン、どう呼んでも構いませんが、もしこのクラブがなかったら、神戸在住の外国人はどんなに淋しかったことでしょう。

又、各種の舞踏会もここで開かれた。

ある時は、バレンタインデーの夜に、独身の男性たちが舞踏会を催し、数々のロマンスも育っていた。この話はもう古い昔のことだが、その夜の思い出は多くの人々の心に残っているにちがいない。

又、公式の会合や祝典も全てここで行われた。バザーや慈善団体の催しも行われた。

その他、主な国家の祝典、すなわちセントジョージ、アンドリュース、パトリックなどの大舞踏会やワシントン舞踏会などもKR&ACで開かれた。半世紀以上にわたって、全てがKR&ACで開かれ、全て大成功だった。

又、神戸のアマチュア演劇の殆どが七〇年以上にわたって、KR&ACで上演された。他に適当な場所がなかったし、神戸クラブは建築的にみても適していなかったし、又昔は男だけのクラブだったのです、女性に対してドアが固く閉じられていたから。

このように七〇年にわたって、



KR&AC ラグビーチーム



YC&AC ラグビーチーム

KR & ACは神戸在住の外国人が集まれる唯一の場所であった。

だがこの伝統も一九四五年の空襲でホールが破壊され、海外から多くの芸人が来てショーを演じた舞台も灰と化してしまった。最大の収入源であったホールがなくなったため、財源不足で苦勞した時期もあったが、中国人の利用で運営費をつないだ。

### ★数々の不運に見舞われた 戦争時代

一九二五年、余りにみすぼらしくなった体育館を建て直そうという事になった。この時どこにトイレを作るかということでもしろいことがあった。

当時の会長、F・M・ヨナス氏はクラブのために大変エネルギーに働いた人であったが、悪魔は北東から来るのだという縁起をかついで（日本という鬼門）委員会をときふせ、窓のないトイレを作ってしまった。ところが、一九四五年の空襲で体育館の施設の殆どが破壊されてしまったとき、何とトイレだけは無事だったのだ。

一九三九年まで敏馬のクラブの役割は続いたが、この年に神戸製鋼が軍需品を製造するので、ポートハウスは閉鎖されてしまった。

それからのKR & ACは戦時下

から戦後にかけて、最も不運な時であった。

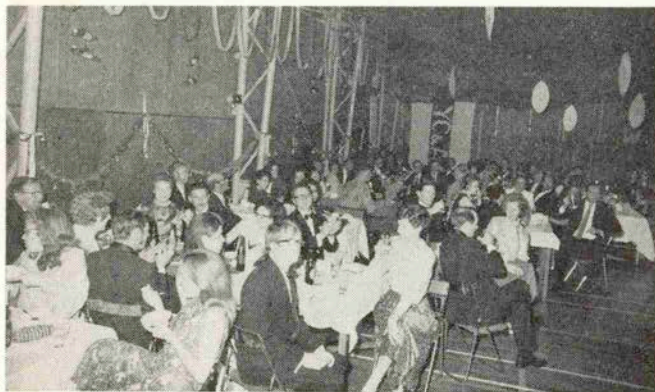
戦時中の様々な事情や当局の思惑で、クラブは転々と移転を余儀なくされた。度重なる空襲と憲兵の規制のため、建物ばかりでなく財産までも失ってしまったが、そんな悪条件の中でも、クラブは活動を続ける努力を怠らなかった。しかし一九四五年七月十日、日本海軍にその家屋までとりあげられた時には、関西から全ての外国人を疎開させるといさし迫った事態を予測して、戦争が終るまで全てのクラブの活動を断念した。

八月には占領軍の到着により、クラブは再開され、戦争の痛手をのりこえて一日も早く日本人とスポーツ試合をしようと願ったが、又も台風や神戸市庁舎建設の犠牲となつて、クラブハウスは転々としなければならなかった。

こうして市の提案をのみ、現在の磯上グラウンド横にニューホームが建てられたのは一九六二年のことだった。

### ★次の二百年をめざして

KR & AC は日本の他の外国人クラブに比べて異常なほど不運だった。戦前はクラブハウスは戦略上まずい位置にあったので、家を次々と変ねばならなかったし



YC & AC との交歓パーティ風景 (KR & AC スタジアムにて)



たての交換 (左より女子ホッケーYC & AC キャプテン、同KR & AC キャプテン、カンパネラKR & AC 会長、ラグビーKR & AC キャプテン、同YC & AC キャプテン)

日本が戦争に突入し、インフレーションが起きるとクラブは殆どの固定資産を失った。

だが、昨年九月に百年を迎えたKR & AC は、今までの不運をのりこえ、次の二百年をめざして、力強く気高い希望に燃えて歩んでいる。

現在、クラブは各種のスポーツ試合ばかりでなく、図書室や各種の個人的パーティからライオンズ・クラブなどの公式パーティまで、又、結婚の披露宴にも利用され、在神外国人の憩いの場となっている。

土、日曜には必ずといっていいほど試合が行われ、子供連れの奥さんたちも応援にやってくる。非常に家族的な暖い雰囲気になっている。

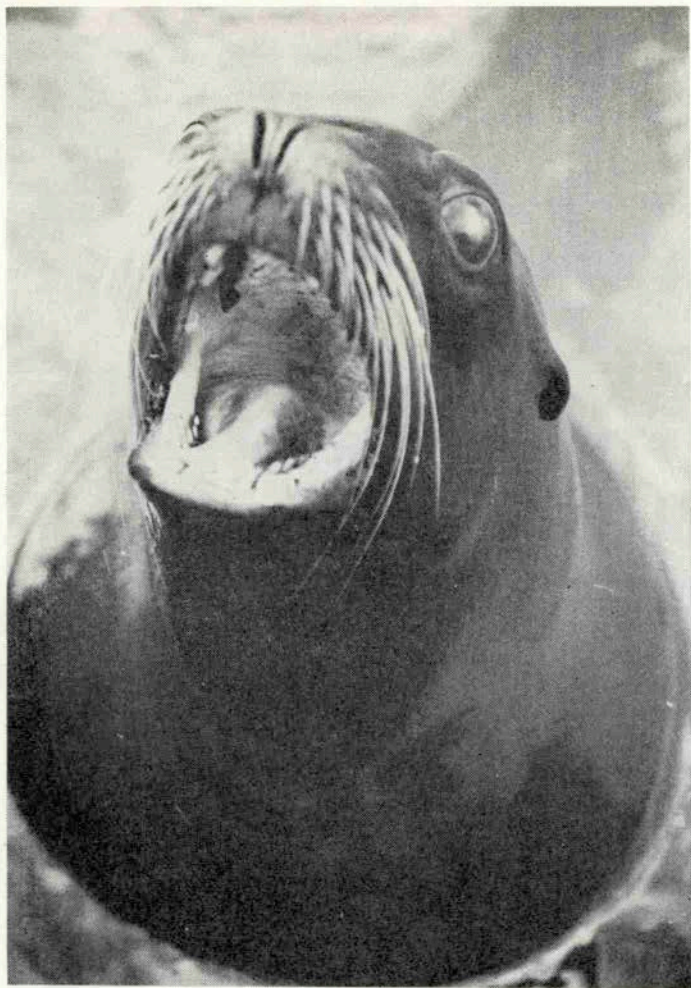
今度のような在日外国人同士の交歓試合をはじめ、日本人チームとの試合も、かなりのレベルで数多く行っており、スポーツ文化の向上、並びに、自然な親睦の役割を果たしている。

★この文の作成にあたっては、英文毎日九月二十三日版、H・S・ウイリアムさんの文章を参照にさせて頂きました。

\*

\*





ヒトなつくく魚をねだるのはみな「アシカ」

動物園飼育日記

— 60 —

亀井 一成

動物園でみるのは「アシカ」

かつてのこと、一頭の傷ついたオットセイが北海道江差沖サケマス漁にかけた漁船に保護され、日本にやってきた。



体を寄せ合い陸で眠るアシカ

船長は、  
「どうしても助けてやりたい、  
ばかりに設備のととのった水族館（その漁船の出身地）に持ちこみ、手当し

ながら飼育してもらっていた」という。

しかし、水産庁から、そのオットセイ飼育に「待った」がかかった。

保護した水族館側も、このまま放すとオットセイの生命が保証できない、と暫くの猶予を願いでたが、

「オットセイは、たとえ治療のための保護であっても国際条約違反だから、直ちに海上に放せ」と重ねて指令してきたのである。

オットセイは夏から秋にかけ、北太平洋ベーリング海の島々で群棲しているが、北国の海が氷にとざされる冬になると、南下をしはじめ、北太平洋全域を回遊しながら好物のイカ、サケ、スケソウダラなどを求めて生活を続け、一部は銚子沖にまで南下してくる。

そして春の訪れとともに、時には一万キロも回遊しながら再び北上し、元の島に戻っていくのだ。

島では数万という巨大な群となることがあるが、群を離れ回遊しはじめると二〇〜三〇頭の小群で行動し、ある時には一匹オオカミならぬ単身になることさえある。

そのような小群の一頭がトロール網に群がるカモメにまぎれながら、網からこぼれる魚を食っていたところを漁船に保護されたのである。

このように荒波の北太平洋で殆んど陸にあがらず、一年の大半を海上の波間に浮かんで眠る暮らしも平気なその全身の毛皮は、トドやアシカに比べ非常にすぐれている。

そのため十九世紀後半、各国が、オットセイの毛皮をもとめ、乱獲のうき目にあい、一時は滅亡寸前にまでになってしまった。

そこで一九一一年、日本、アメリカ、ソ連、カナダの各国で北太平洋、オットセイ保存暫定条約を結び、現在もなお、国際的な保護にのり出しているのだ。

とにかく、その国際条約は、たとえ、試験研究、公衆供覧といえども、暫定条約に基づくオットセイの調査研究以外は捕獲をいっさい認めないとしたもので、北緯三〇度以北の太平洋では捕獲を厳しく禁止。漁網等にかか



ったオットセイは全て海中に放すこと、たとえ死亡したものであっても拾得しないこと、などが条約の主な内容である。

「アミにかかった時、すぐ手当して放せばよかった、日本に持ち帰ったことは国際問題になりかねない」

「条約もさることながら、傷をなおしてやることが本当の愛護であり、ひいてはオットセイ資源を守る」

と時ならぬ論争が起ったが、その一頭のオットセイは一般に公開されることな

く、結局は傷の回復の見とおしがついた時点で海上に放された。

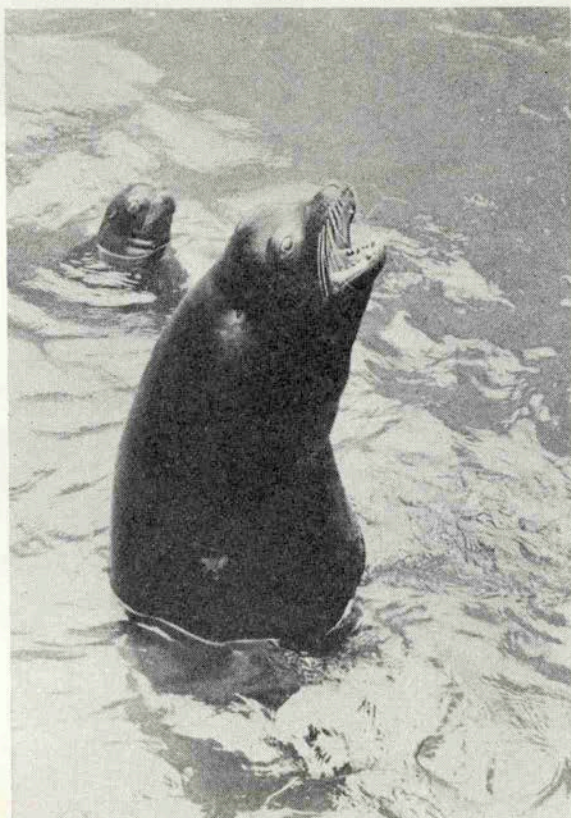
はたして、いまもきびしい荒波の北海で無事に泳いでいるだろうか——それは誰にもわからない。

このように元の海に返すことで、この保護事件は、ようやく落着いたが、これでお解りのように「オットセイ」は現在日本全国の動物園では、特別許可された神奈川県江の島海獣動物園に僅か二頭が飼育されている以外には、何処の動物園に行っても見る事ができないのである。

それにもかかわらず動物園で「アシカ」をみた学童、といわず大人までが、「オットセイ」だと呼んでいるのにおどろく。

ところで、この稿の本题は、いま長々と記したオットセイ論争ではなく、愉快な曲玉、ワナゲ、ハシゴ渡りと芸達者なヒトなつっこい、ダイビングの名手、何時も人だ

アシカのオスは体重 300 キロにもなる。メスは 100 キロと小さい。



かりをつくる人気者は、日本の動物園の場合全てが、オットセイ (SEA BEAR) ではなく、アシカ (SEA LION) であることをいま改めて知っていただきたいのである。

しかも、そのアシカの殆んどが、アメリカ太平洋岸に住む、カリフォルニア・アシカだ。

その生活環境からいえば、もともと哺乳類の彼等は、水中で呼吸するわけでもないから、海水でなくても、餌

を追って泳ぐだけなら淡水でも平気なわけだ。だから海水飼育の水族館の方が長生きするかといえば、淡水プールの動物園でも結構子供さえ生まれている。

だが、そっかしい彼等は、するどい歯を持ちながら、餌はほとんど丸のみ。一皿二〇円のアジに、つい油断していると、石やコインまでお客に投げつけられ、あやまつてのみこむ。それがもとで死ぬのも、オットセイではなく「アシカ」なのである。〈王子動物園飼育係／写真も〉

# BEER GARDEN



5.14  
OPEN

オリエンタルホテル直営

ショーが楽しい大人のオアシス

オリエンタルビアガーデン

オリエンタルホテル3階 TEL (078)33-8111

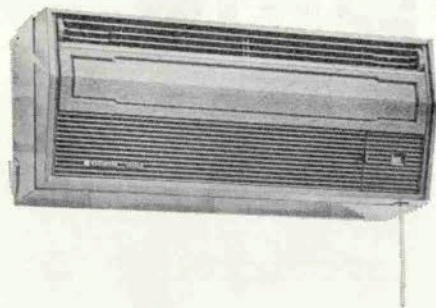
西神戸随一の眺望

サントリービアガーデン

神戸駅前日生川崎ビル屋上



電気器具の粋をあつめました



さわやかなSUMMERTIMEの  
準備をおはじめ下さい

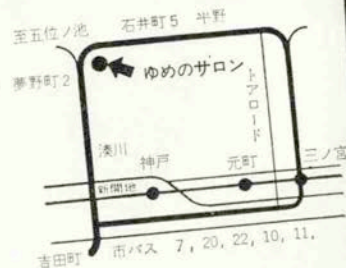
元町家電(株)

神戸市生田区元町通 6 丁目 25  
TEL (078) 35-0081

●アカデミー神戸● ゆめのsalon

- ピアノ
- エレクトーン
- フルート
- ギター
- 琴
- 絵画
- フラワーデザイン
- ガラス工芸
- 書道
- 手芸
- 生花
- 英語

■集会や小さなパーティにも  
もお使いいただけます



神戸市兵庫区熊野町1丁目73  
電話・神戸(078)51-8943  
郵便番号652  
市バス夢野町2丁目下車1分

# ★神戸の集いから

## ★兵庫県美術家同盟パーティ

戦後二十一年いち早く兵庫県唯一の美術団体として結成され、公募展、会員展、神戸市民美術教室の創設、優秀作家の育成などに多大な貢献をしてきた兵庫県美術家同盟が三月二十日、そごう九階に集い、公募優秀作品の表彰を兼ねて懇談会を開いた。各派の人達が岐阜や鳥取方面からも駆けつけ、この日集った一二〇名の会員たちはなごやかに会食をしながら、今後の会の運営や活動方針などを話合った。



そごうで開かれた兵庫県美術家同盟パーティ

## ★三中間窓会・淀川長治さんの同期生がずらり

淀川長治氏が、東京12チャンネルの「人に歴史あり」という番組で放映されることになり、その取材班が来神の折ちょうど、三中間の同期生の集まりが、交通センタービルの三中間窓生の会、「神撫クラブ」で開かれていました。当時の近藤校長の自由な校風を受け、異色の人材を多く世に送り出している三中にあって、淀川さんも、大いに学生時代を楽しめたとか。わんぱく時代の話に花が咲いた集いでした。



なごやかに懇談する三中間窓会

## Chianti corner キャンティ・コーナー

洋酒の味をたっぷり



岩瀬 正彦氏

（ニッカウイスキー神戸出張所）

「名古屋から神戸へ転動して二年半。断然気に入ってのごきげんな神戸です。ただ商売は非常に難しい。でも櫛さんとめぐりあって、土地柄やお店のことをいろいろ勉強させてもらってありがたかった



ですね。神戸のスタンドは酒好きにはたまらない魅力。洋酒の味をたっぷり味わせてくれますから。ほくはここのチーズトーストがお気に入りなんですがね」

洋酒の店 キャンティ

**Chianti**

神戸 晴夫

神戸・生田区北長狭通二二三  
TEL 八三九 三〇六〇



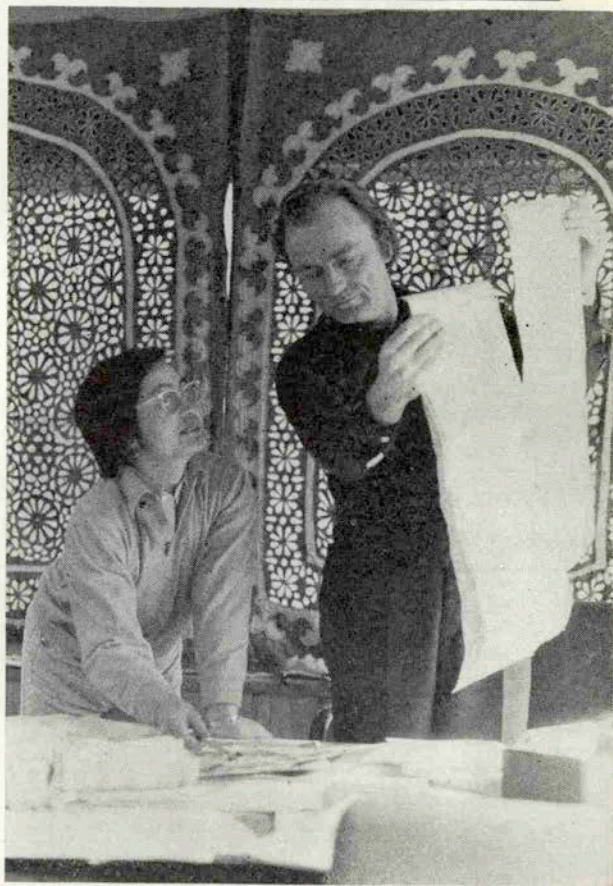
■ J・ロウ夫妻のカメラとペンで〈3〉 スミ・グラックさんを訪ねて〈日系米人〉

# 日本のことならなんでも



J・ロウ夫妻

奈良正倉院のベルシャ（今のイラン）のガラス製品は今から千三百年程前、中国を通じてやってきた。ベルシャ文明の研究者のジェイ・グラック氏の奥様のスミ・グラックさんは、民芸の分野に詳しい。チェリンとガレットの母親でもあるが、ブラック氏の仕事上の相棒としても頼りにされている。去年日本に帰る前は、イランで国王の命でオレンジの園という古い王宮の復元の仕事をした。氏のサラリーがいくらかと払われたのではなく、夫妻でいくらか払われた事からしても、夫人の役割がどんなものだったか察する事が出来る。本も二人の共著が多いし、二人三脚で四人分位の仕事をしているのが私のグラック夫妻に対する印象である。



本を編集中のグラックさんご夫妻

く別の道歩んでいたでしょう。戦争前までカリフォルニアに寄り集まっていた日本人移民は、働きずくめの水飲み百姓で、地位も低く、無力な少数民族の小さな世界にとじこもっていました。親と子がゆっくり話をする時間がないのですから、子供は学校で憶えたペラペラの英語、親は日本語と数も多くない英語の名詞位で言葉の上の断絶は大きいでした。私の家は子供が九人もいましたから、目があいていれば、畑で働いていた両親に代わって、家事は学校に行く前に全部済まして、お弁当も自分で作って、学校に行く習慣でした。授業が終ると、九人共飛んで帰り、畑仕事を手伝い、責任重大でした。サンフランシスコのサン・ウオーキング・バリーという所で初めは野菜、次にはぶどう栽培を手がけました。市民権のなかった一世は、法律で土地を買う事を禁じられていたので、借地でした。この地域は中国人、ドイツ人、イタリア人と日本人、アメリカ人でも東海岸から来た人達で占められていました。戦争の勃発に続き、西海岸の日本人十一万人は一時しのぎの小さなキャンプに集められ、大きな収容所の完成を待って、アメリカ各地に散らばって行きました。自分の祖国が、真珠湾攻撃という手段で、自分の住んでいる国に宣戦を布告して始まった戦争、そのための収容所入りと移民は複雑な立場に立たされてしまったのです。早く渡米した一世の中には市民権のある二世の名前で土地を買った人がその頃ポツポツありましたから、何十年の死にものぐるいの労働の結果を収容所入りの前にウツのような値段で手離さなくてはならなかったのです。私の父は子供作りに忙がしすぎて、土地を買える所までいってなかったで、失う物は少なく、唯一の財産、子宝九人を引き連れて、アーカンソーの収容所に入り、バラックの三部屋をもらって暮しました。カリフォルニアではその当時、移民は、ジャップの貧乏百姓として見下げられ、移民自身も卑屈な根性を持っていました。同胞が集まっている場所を離れる勇氣はないし、そこに居つづけられれば羽ばたくチャンスはないという状態だ

ったのです。それが戦争のためにカリフォルニアを離れる事によって、古い根を断ち切り、概念をつき破るチャンスを得たのです。小さな地域の外には一步も出た事がなかった移民が、広い世界にふれ、前かがみの姿勢を改めて、国籍にとらわれずに行動する目を開かれたのです。保証人がいて、西海岸に帰らないと約束すれば、収容所を出る事が出来ました。私は虎の子の六十六ドルとニューヨーク行きの切符を持って飛び出しました。短期の訓練の後、すぐ洋裁師としてバリバリ仕事を始めました。日本人の手先の器用さがかわれたのは勿論ですが、私は上から二番目で、針がやっと持てる年頃から、家族のものを縫いだり接いだりしてましたから、熟練をかわれて、高給をもらっていました。(グラック氏は、そばで今はボタン一つつけてくれないやとほやいている)でも、この仕事は、一時しのぎだったのです。ニューヨーク市立大学で一生の勉強の基礎になる歴史を専攻する事に決め、新しい働き口を捜しましたが、運よくコロムビア大学の教授の家に下宿して、一日三時間の労働と下宿代を交換して、貯金とで何とかやっていきました。月謝は免除、大学の費用は図書館費が年たったの十ドルで済んだのは幸いでした。その頃アジア研究所の主催するアジアのタベという講演会があり、雰囲気を出すために、日本の女性が着物姿で狩り出されましたね。いやいやながら狩り出されていた晩に、ジェイと会いました。戦争が終り、日米の交流は始り、私にいろんな事を聞きにくる人が増えたのですが、私は日本の事はおろか日本語も満足に話せないでしよう。両親は広島弁で明治言葉。……候文（きょうぶん）というのでしょうか。そこで一大決心をしてコロムビア大学の日本語科に入ったのですが、どうしてもついていけないのです。それなら日本に行けば一番手とり早いと思って大学と交渉して、日本に留学する事になりました。ジェイはその頃京都のアジア研究所にいましたので、京都に來いと矢のような催促でしたが、京都に行けば最後、勉強は出来ないと解っていましたので東京





ミセス・グラックのペンダントはトルコマン遊牧民のお守りの中にコーランが入っている。ミスター・グラックの服はペルシャの100年も経っている服で冬中離せないそうです。

を選びました。生れて始めてアメリカを出るのだから、ヨーロッパ経由で、マルセイユからカイロ、紅海を通じて日本には四カ月かかってゆつくりと近づきました。その頃ジェイは京都を引き払い、東京に出てきていました。そのせいばかりではないですが、大学の授業はチンブンカンブンで眠たさとの闘いでした。ジェイが「ああそう」という題で出した漫画集が当たり、これを資金にして、英語の雑誌社を作りました。占領軍がいて、朝鮮戦争の真最中でしたから四つの雑誌「View ヴュー」、「アジア・ウィークリー」、「オリエント・ダイジェスト」と「あのね」はどんどん売れ、四つの締め切りを抱え

て、ジェイの妹と私達三人は走り廻りました。私の担当は「あのね」で外人が見るべき物、能、歌舞伎、祭等に力を入れて、紹介しました。朝鮮戦争も終りに近づき、外国からの観光旅行もなかった時代ですから、雑誌の需要が急激にへるのを見通して、惜しまれる時に（雑誌の編集から）手を引き、締め切りの心配から解放されて、やっとジェイと私は結婚しました。それまでは忙しすぎて、結婚どころではなかったのです。精神的にも疲れ切っていたので、生活を一変させて、京都を通り、半年かけて広島の本家人りをしました。私の母が受け継いだ本家は、宮島の近くの小さい村にあり、屋根裏の、明治時代の道具を下してきて、手を加え斬新な実用品として使いました。私のあんだんの記事がヴォーグの編集者の目にとまり、あんだん特集を載せたのもこの頃ですし、ジェイがこの時書いた空手の本の影響でアメリカに十六の道場も出来ました。二年の村住いの後、一歳半のチェリンを連れて英国から持ってきた堅牢な折りたたみ式乳母車に、おしめからベビーフード、赤ちゃんとタイプライターを積んで出発しました。「ジャパン、インサイド&アウト（日本のことなら何でも）」という旅行案内書を書くために」

北海道から沖縄までの五冊の本は、今では世界各国で、日本に來ようと思う旅行者なら、大抵は持っている本である。この本が出来る前は、東大教授のチェンバレンが一九〇四年に書いた「メリーズガイド」という本が一冊きり。しかも「人力車の雇い方」が書いてあるような時代物の本であつたので、面白さは充分あつても、旅行案内書としては適さなかつた。今では、グラック夫妻の書いた案内書でさえも、書き直すべき所が沢山あるという。今、ミセス・グラックはイランで捜し出して来た古い布を一冊づつに貼って、貴重な資料になるペルシャ民芸の本の構想を練っている。ペルシャの古美術に取り囲まれている今の生活の方が、ぶどうを摘んでいるよりも、ずっと楽しそうだ。

# MAKE UP WITH ROYAL

すばらしいあなたに...

SUMMERサングラスがそろっております



めがねの御用命はお気軽に神戸眼鏡院で御相談ください

 **神戸眼鏡院**

元町店・元町3丁目 ☎③21212代表

三宮店・さんちかタウン ☎③91874〜5

ビヤガーデン 5月1日オープン



## 〈北欧ヴァイキング料理〉

2000円〈税込み〉

飲みほうだい (サントリー純生ビール) + 食べほうだい  
クラウン・コーラ

一品料理、日本酒も準備いたしております

同窓会など各種パーティにご利用頂けるお部屋もございます。



なごやかなムード

すばらしい眺望!

# スカイサントリー

三宮交通センタービル9F TEL.③3705〜6



●神戸が生む新しい現代舞踊の集い

# 神戸創作舞踊の会第1回公演

6月6日 ⑩午後1時 / 午後6時 神戸国際会館 2階大ホール

原始の火から現代の火を踊る

## 火の詩

●出演 上月 倫子  
今岡 頌子  
花柳 芳叟  
花柳 芳恵一子

●演出 岡田 美代  
●作曲 中村 茂隆  
●詩 安水 稔和  
●装置 板矢 真紀  
●衣裳 藤本 ハルミ



●他のプログラム

モダンダンス 漂 砂 今岡頌子舞踊研究所  
クラシックバレエ HAGOROMO 上月倫子バレエ研究所  
日本舞踊 連 獅子 花柳芳叟・花柳芳恵一子

入場料 A¥2,000 B¥1,000 神戸国際会館・神戸新聞社各プレイガイドで発売中

主催／神戸創作舞踊の会 後援／神戸新聞社・サンテレビジョン 協賛／月刊神戸っ子



## 神戸まつりに傘の市

「のろのろ電車を惜しむ会」で初仕事をスタートした文化事業団体「傘の会」は、三月七日、毎月一度の例会が、神戸市兵庫区柳原の「傘の会」事務局で約三十名が参加して開かれました。

一カ月に一度は円陣をはって、ゲストを迎えてのおしゃべり会。

第一回は「動物のSEX」について山田亨さんがゴリラ、チンパンジーなどさまざまな動物の生態をくわしく語られて、三十名ほどの出席者は堪能しました。

またこの日会員の一人である全国スモンの会兵庫支部長の春木幸

子さんが、一カ月ほどで会員の三沢玲爾さんの印刷協力と二紀会の鈴木伸勝さんの挿絵と装丁による「あけぼのを待ちつつ」という小冊子を発行。

内容はスモン病患者として原因のわからないまま病苦と十三年間闘われた松本音代さんの記録で、胸を打つものがあります。領価は一〇〇円。お申込みは神戸市兵庫区西柳原町一〇五「愛の傘の会」あてにお申込みください。

五月十五、十六日の神戸まつりにはオアシスロード大丸前で、「傘の市」を開いてはどうかというアイデアが提出されて、街頭セリ市をやり、とくにアイデアのあ

る品をそろえて、チャリティを行うおうということですが、セリ手帳補が大変多いので、さてモメることでしょう。

★ ★ ★

「傘の会」とは

この会は、文化の諸分野で活躍している者の自由な交流と提携を通じて、技術時代に生活する人々のあいだに人間としての主体的な自覚をたかめ、会員の相互の研鑽をはかるとともに、地域の文化の向上に直接に寄与することを目的とするものです。

「傘の会」事業計画。これは実行可能なものから逐次計画して実行しようというもの。

★こども傘の会／児童絵画教室、児童劇研究会、ちびっ子広場、ちびっ子天国などの児童用施設美化

★傘の市／古書、古道具などのセリ市、のみの市、バザーなど。

★傘の窓／各種の相談あつせん頭脳センターの設置、集合場提供

★傘の壁／保存すべき大衆演芸、アンゲラ演劇、詩の朗読会など。

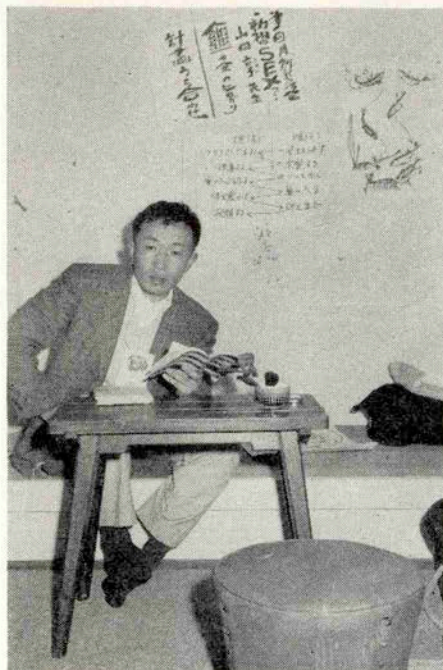
★おはなし傘の会／文学講座、美術講座、詩の鑑賞会など。

★愛の傘の会／身体障害者の福利の手助け。殺風景な場所を子供の絵でなごやかにするなど。

その他「映画傘の会」「音楽傘の会」「美術傘の会」「走の傘の会」など続々企画されています。

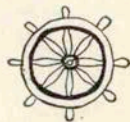
★ご入会ご希望の方は

傘の会本部／神戸市兵庫区西柳原町104 ★月刊神戸っ子編集部TEL(22)7037(22)8072迄  
★月会費は一〇〇〇円です。



動物のセックスについて語る山田 亨さん





ミニ・ポート

# 11PM神戸を舞台に 「春は豪華客船にのって」



ギターを弾く小曾根実さん

上/金属の水着も登場 下/藤本義一さんと海の女王と麻鳥千穂さん

そして神戸のデートコースは書道の望月美佐さん（神戸）が東遊園地からトアロード、諏訪山、北野町、三宮を紹介、小曾根さんが再度山から六甲山ドライブコースたべてのんで踊ってそしてポートターミナルなど夜のコースも紹介する。最後には、砂野、永田さんが神戸港の未来図、ポートアイランド、六甲ふ頭、関西新国際空港についてしゃべりはじめるといささかとどことなく、ディレクターがはらはら……。それに加えて水着のファッションショーやペインティング、GOGOなど春らしく盛り沢山だが明るくスマートにまとめたのはさすが。

赤い神戸大橋にポートアイランド。新しい神戸港風景をめざして入港して来る白いキャンペラ号。船のデッキから手をふる笹田泉さんとスタッフキャプテン。  
これは三月二十一日横浜から神戸まで船旅を楽しんだ「11PM」のホステス泉ちゃんの姿だが「春は豪華客船にのって」のタイトルでポートターミナル「フィッシュマンズポート」（レストラン）を中心に、船旅、神戸新景、神戸のデートコースなど、神戸の魅力をフルに生かした一時間の録画中継を行った。（本番放送は四月十五日）  
特に最近には神戸出身のメンバーがレギュラーに多いことと、外人観光客のまじる見物客も沢山つめかけて、春一番、さわやかなプログラムを制作した。  
ゲストの砂野仁神戸商工会議所会頭、永田安彦神戸市港湾局長、新婚ホヤホヤの元宝塚スター麻鳥千穂さん、マンガの福地泡介さん、海の女王の恒光真理さん初め四人のクイーン達は魚貝料理（海賊焼）を前にホストの藤本義一さんに神戸港の魅力について語り合う。  
笹田泉ちゃんの船旅のレポートにつづいて、ダイアナマックイーンさん（夙川在住）のチャージングなサントリーのCMや田村ひろみさん（神戸出身）の「神戸この街恋人の街」を唄う姿。小曾根実トリオがハモンドを中心に軽やかな演奏。そして船旅の魅力について速水育三さん（世界の客船の筆者）が最近の客船や神戸港への入港状態などいろいろ話題をインタビューされる。

服飾デザイナーの夢を育てる  
〈公認・伊東連盟校〉

## 戸塚敏衣服研究所

■ 入学期 4 月・10 月



洋裁本科★高等科★研究科★  
男女共学科★手芸科

神戸新聞会館東隣り 三栄ビル4階

TEL 22-6268

5月のアトリエ戸塚のお客様は  
芦森郭子さん〈趣味の店ボン・グー経営〉 白鳥富美子さん  
お二人とも戸塚先生のデザインによるドレスアップをするようにな  
って明るいカラフルな色を着るようになりましたとおしゃれの楽し  
さを語っていらっしゃいます。



オートクチュール

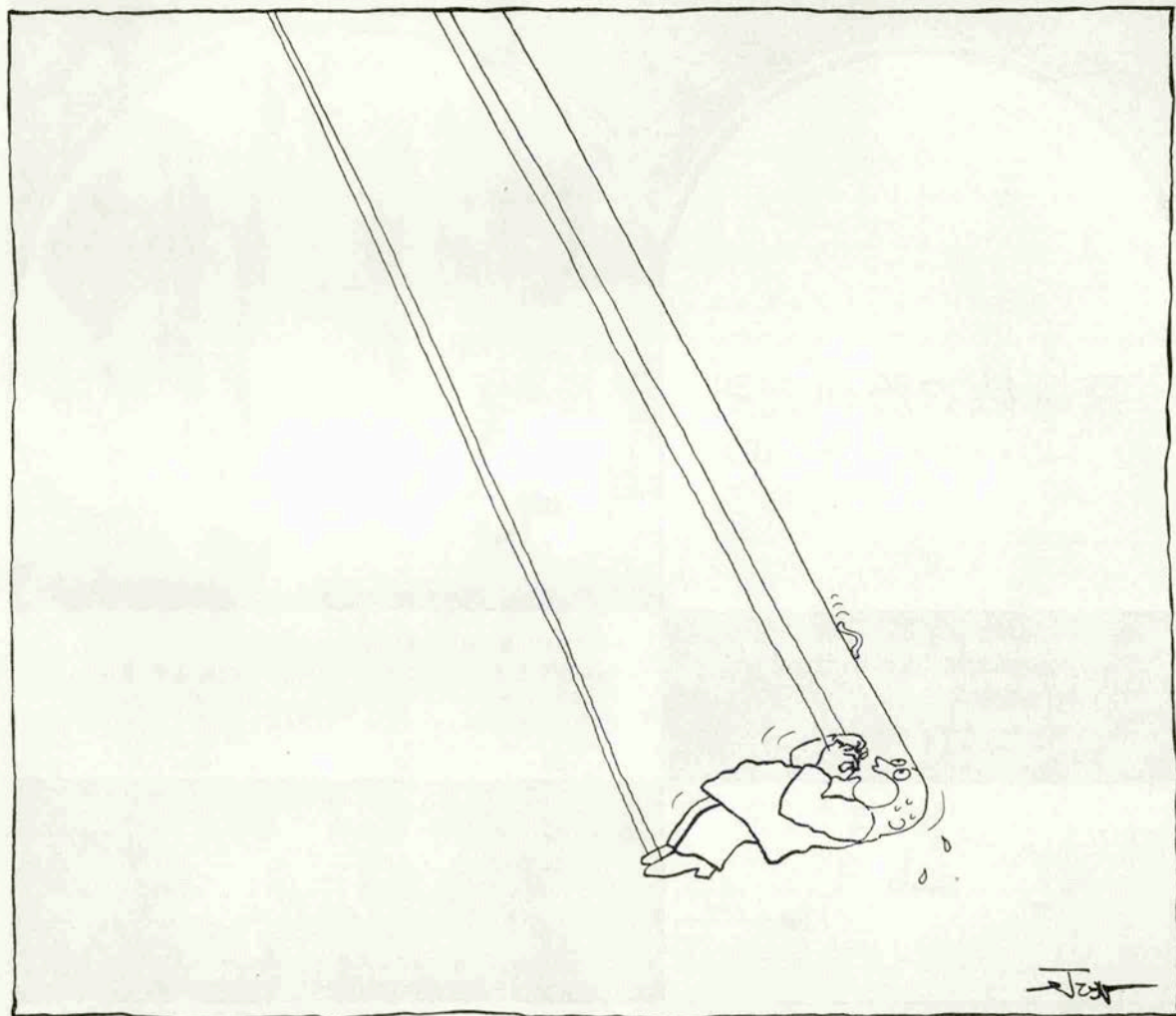
アトリエ **戸塚**

神戸市灘区布引町4丁目1ノ39  
谷川ビル2F TEL24-5660



逃げられないことがある

●シリーズコミックス マリオネット3 岡田 淳



安全なこともある

